

秋

# 亀井病院広報誌

Pipi ピピ

2019 Vol.32

## 笑顔であります



病院長  
神山 有史  
徳島県総括災害医療  
コーディネーター

亀井病院では、「明るく、話しやすく、コミュニケーションの取れる病院」を目指して、昨年4月より病院スローガンを掲げ、職員自らが率先して皆様に声掛けをするようにしています。

病院スローガンは仕事にあたるうえでの職員の気持ちを表そうと、職員より募集し決定しました。昨年の第一回スローガンは“笑顔であります”です。ややもすれば固くなりがちな表情でなく、患者さん、ご家族、来訪者の方々や職員同士など、病院でお会いするすべての方々に笑顔でありますを交わし、やさしく応対のできる病院にしたいとの職員の気持ちを表したものです。1年間継続し、職員全員へ浸透させてきました。これからも職員全員がいつも“笑顔であります”を交わせるよう心がけ、患者さん達から病院が明るい、話しやすいと思っていただけるようにしてまいります。

本年度のスローガンは“やさしい気づかい”です。職員全員が“やさしい気づかい”的できる病院を目指しています。



## 第24回院内発表会～井上貴昭先生をお迎えして～



原泌尿器科病院 副院長  
井上 貴昭 先生

当院では、2008年3月から年2回のペースで院内発表会を開催しています。日々の業務で実践してきたことを多くの職員の前で発表することで、プレゼンテーション能力の向上を目指しています。

第24回となる今回は、原泌尿器科病院より副院長の井上貴昭先生をお迎えし、特別講演「成功に導くプレゼンテーション～あなたを導くその鍵とは～」をテーマにお話ししていただきました。井上先生は泌尿器科分野以外にも、医療プレゼンテーション技術の研究やビジネスプレゼンテーションの企業教育・指導講師としてもご活躍されています。医師としてのご自身の経験からプレゼンの重要性と面白さに気づき、のめり込んでいったそうです。

### なぜプレゼンテーションは必要なのか

まず例をあげながら、なぜプレゼンテーション能力が必要なのかを分かりやすく教えてくださいました。私たち医療従事者は常に患者さんやご家族と接する機会があり、病状や治療方針を伝え、話し合っていかなければなりません。また、症例カンファレンスや他職種への情報伝達も正確に行う必要があります。その場面には必ず「伝える力」が必要です。プレゼンテーション能力が優れていれば、このような際に情報共有がスムーズにでき、より患者さんに寄り添った医療を提供することが可能となります。

伝える力を身につけ、患者さんと十分なコミュニケーションを図ること。これは私たち亀井病院の品質方針でもある「**患者さんの話に耳を傾け、患者さんとコミュニケーションを図り、患者さんとともに歩む医療を行う**」に、まさに当てはまります。このことをよく理解し、学会や発表の場だ



### 当院の教育施設認定

### ワークライフバランス

- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医基幹教育施設
- 日本透析医学会専門医制度認定施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- DPC 対象病院
- 急性期一般入院料 1 (7 対 1 看護)
- 産休・育休後の復職率 100%を 15 年間継続しています

けでなく日々の業務にも必要となってくるプレゼンテーション能力を、院内発表会や月2回のプレゼンテーション発表の場を活用し、向上させていきたいと改めて思いました。

## プレゼンテーションに必要なストーリー

絵と話術と身振り手振りで子どもたちを魅了する紙芝居は、プレゼンテーションに通じるところがあるとおっしゃっていたのが強く心に残っています。良いプレゼンテーションにはストーリーが必要で、もっと聞きたいと思わせ、聞き手の感情をゆきぶることが大切であると教えてくださいました。

そのための構成の仕方やスライドデザインの作り方、何を伝えたいのかを明確にし聞き手の立場になって作ることなど、技術的な部分もお話しいただき、プレゼンを手探りで作っていた職員たちにとって、とても貴重で勉強になる講義でした。



また、職員の一般演題発表も同時に行いました。

1. 医療従事者の術中X線透視被ばく低減に向けたアプローチ [放射線部：中田 拓史]
2. 当院における入院透析患者への減薬の取り組み [薬剤部：山村 智里]

プレゼンテーションのプロの井上先生に見ていただけるとあって発表者はとても緊張していましたが、プレゼン後には具体的なアドバイスをもらうことができ、さっそく次に活かそうと張り切っています。今回の講演内容で学んだことを日々の業務に活かせるよう、職員一同、研鑽を続けていきます。

(事務部：戸羽 菜月)



## 医療安全対策チームの活動について



医療安全文化を根づかせるには、組織全体で取り組んでいくことが重要です。当院では医療安全管理者を中心に、インシデントレポートの収集や医療安全勉強会の計画、実施を行ってきました。活動を通して、医療安全に対する意識の温度差を感じることもあり、現場のスタッフをいかに活動に巻き込んでいくかが医療安全文化の醸成につながると考えています。

### チームの立ち上げ

看護部 副師長  
医療安全管理者  
岡田 美千子

2018年7月に医療安全対策チームを立ち上げました。メンバーは各部署の責任者に選出してもらい、役職を持たないスタッフを多く集めました。これは、現場の1人1人が医療安全に対する知識を持ち、意識して働くことで医療安全文化が浸透しやすいと考えたからです。

活動内容としては月2回の院内ラウンドを行い、多職種の視点で危険場所の指摘などを行っています。そして当該部署だけでは解決しにくい問題について意見交換を行っています。積極的に活動に参加してもらうため、進行や記録も担当制しています。さらに月1回のチームミーティングではインシデント・アクシデントレポートの原因分析を行い、改善策を検討し、それぞれの部署に持ち帰り周知しています。



### 医療安全対策地域連携加算

2018年度診療報酬改定で「医療安全対策地域連携加算」が新設されました。医療安全対策地域連携加算とは、病院同士で互いの病院を評価し合う仕組みのことです。これにより安全対策の質向上や体制の充実などが期待されます。当院は2018年12月に徳島赤十字病院の評価を受けました。良い点・改善すべき点の指摘があり、病院の規模は違いますが、第三者視点の参考になる意見をたくさん聞くことができました。

医療安全活動が浸透し、院内の医療安全文化が醸成され、患者さんやご家族が安心して医療をうけられる環境を常に提供できるよう、今後も継続して活動を行っていきます。

## Topics

### ふれあい看護体験

8月2日に「ふれあい看護体験 2019」を開催し、看護職に興味のある徳島市内の高校生5名が参加してくれました。

血圧測定の仕方や車イスの押し方、正しい手洗いについて学んだ後は、手術室や放射線室を見学してもらいました。特に手術室は全員初めてだったので、普段ではなかなかできない体験に目を輝かせていました。

みんなでたのしく昼食を食べた後は、病棟で入院患者さんの透析シャント音を聴取させてもらいました。実際に患者さんとふれ合い、会話をすることができて、とても貴重な時間となったようです。他にもシリンジやアンプルを触ったり自分の血糖値を測ってみたりと、色々な体験を通して看護職に興味を持つてもらえた一日でした。



血圧測定の体験



患者さんとのふれあい



みんなで写真撮影

### ソーシャルワーカーリーダーシップ研修

6月17日～19日に埼玉県和光市にある国立保健医療科学院で行われた第1回医療ソーシャルワーカーリーダーシップ研修に参加しました。北は北海道から南は鹿児島まで参加人数は48人で、働いている病院の規模も大規模から小規模まで様々な環境の職員が集まり、3日間の研修を行いました。

1日目、初対面のためお互いが距離を感じながら始まった研修でしたが、参加者全員がソーシャルワーカーということもあり持ち前のコミュニケーション能力を発揮して情報交換し、グループワークもスムーズに進めることができました。

2日目、講義とグループワーク成果発表に向けての準備が始まりました。モデルとする病院決めから始まり、問題点の抽出、問題同定、原因分析、対策・実施、評価・改善策を8人で意見を出し合いながら組み立てていくのですが最初の段階である問題同定とテーマ決めに難渋しました。ですがその分、さらにコミュニケーションが取れて結束が強まり、一体感が生まれていきました。

3日目、みんなが定刻より早く来て前日からの続きを再開、締切ぎりぎりまで試行錯誤し、スライドを作成してプレゼンテーションを行いました。

今回の研修に参加して、医療ソーシャルワーカーは自らの経験と知恵を武器に工夫し、仲間に助けられながら専門職としての役割を果たそうと日々努力を続けているのだと実感しました。刺激と新たなパワーをたくさんいただいた3日間でした。 (地域連携室：芳村 貴浩)

# カメイのスイーツ



今回は、お菓子作りが得意な調理師さんのレシピを紹介します。旬を迎えたジューシーないちじくを使い、家庭の電子レンジで簡単に作れる和菓子です。大福の中身をお好きなフルーツに代えたり、バニラアイスを包んでも美味しい召し上がれます。手作り求肥（ぎゅうひ）のもちもち感をお楽しみください。

管理栄養士 山下 絵里

エネルギー：267 kcal  
タンパク質：4.4 g  
カリウム：103 mg  
リ　ン：40 mg

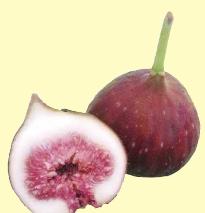
## 材料 (5個分)

### 【求肥】

- 白玉粉 … 100g  
砂糖 … 80g  
水 … 150cc
- 片栗粉 … 適量  
いちじく … 5 個  
(1 個 50 ~ 60g 程度の  
包める大きさのもの)  
白あん … 150g  
(1 個につき 30g)

## つくり方

- ① 耐熱ボールに白玉粉を入れて、分量の水を 3 回程度に分け入れながら小型の泡立て器でよく混ぜる。さらに砂糖を加えてよく混ぜ合わせる。
- ② ラップをかけずに電子レンジ 600W で 3 分加熱する。(ボールの周りから固まり、中央にまだ水分が残っている状態になっていれば OK)
- ③ ボールを取り出し中身を泡立て器でよく混ぜ、さらに 600W で 1 分～ 1 分半程度加熱する。
- ④ 片栗粉を敷いたバットに③を木べら等でくっつけて入れ、表面に少し片栗粉を散らしラップをかけて均等な厚さに押し広げる。  
粗熱が取れたら 5 等分する。
- ⑤ いちじくは皮をむき、白あんで包む。
- ⑥ ④の求肥の中心に⑤をのせて包み込み、形を整える。

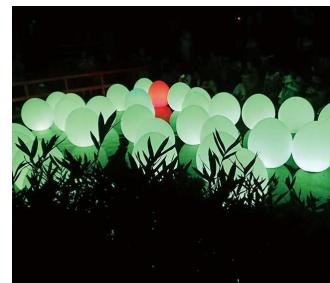


## オフタイム～事務スタッフの休日～

当院スタッフの休日の過ごし方をご紹介します

最近、神社やお寺巡りにハマっています。特にお気に入りは川崎大師というお寺で、東京に遊びに行つた時には必ず川崎まで足を延ばすようにしています。今回の広報誌の表紙にも写真を使っていただきましたが、境内は広くて綺麗で、とても素敵なところです。自分に合った神社やお寺を見つけると、すうっと心が落ち着く気がします。

先日は京都に行く機会があったので、八坂神社、安井金比羅宮、車折神社、下鴨神社、長岡天満宮などたくさん神社を回ってきました。下鴨神社では、この日ちょうどライトアップイベントをしていて、普段は体験することのできない雰囲気を味わうことができました。  
(戸羽菜月)



## おすすめストレッチ♪ 首から肩の筋肉

今回は首から肩にかけての筋肉のストレッチをご紹介します。重い物を持つときや、文字を書くときなどに使う筋肉で、同じ姿勢を続けていると肩こりの原因になります。デスクワークや家事の合間に伸ばして肩こりの予防に活用してください。

作業療法士 吉田 仁美



### ◎ 右側の筋肉を伸ばすとき

- ① イスに少し浅めに座り、両手を後ろにまわして左手で右手首をつかんで、左側へ引っ張ります。
- ② 同時に頭を左側へ傾け、しっかりと首の筋肉を伸ばしましょう。



### ◎ 左側の筋肉を伸ばすとき

右側とは逆の動作をおこないましょう。

Pipi、ってなに？

「Pipi」とはフランス語で「おしっこ」の意味です。

広報誌の発刊が決まったとき、職員に名称を募集したところ、集まったもののなかでキラリと光っていたのが Pipi でした。当院の特徴である腎・泌尿器を表現できているのではないかと思っています。

# 外来診療のご案内

令和元年 10月現在

	月	火	水	木	金	土
<b>泌尿器科</b>						
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
14:00～16:30	●	●		●	●	
<b>透析</b>						
7:45～	●	●	●	●	●	●
12:00～	●	●	●	●	●	●
17:00～	●		●		●	
<b>総合診療</b>						(第1・3 土曜のみ)
9:00～12:00	●	●		●	●	○
14:00～16:30	●					
<b>腎臓内科</b>						
9:00～12:00	●			●		
14:00～16:30	●			●		
<b>麻酔科</b>						
9:00～12:00	●	●		●	●	
<b>循環器内科</b>						
14:30～16:30				●		
<b>整形外科</b>						(第2・4 土曜のみ)
9:00～12:00						○
<b>緩和医療</b>			(14:00～16:30)	(9:00～12:00)		
		●		●		

※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。

※いずれの外来も**予約制**で行っています。当日受診希望の方も電話連絡をお願いします。

※毎月（月1回）の**保険証**の提示にご協力ください。



Management System  
ISO 9001:2015  
www.tuv.com  
ID 9105021916



● 国道438号線沿い 文化の森総合公園の西側となり

● 大型駐車場あり

● 徳島バス 佐那河内線、徳島市バス 一宮線

【亀井病院前】下車。1日55便、上下線とも病院玄関前に停車します。通院・お見舞いにご利用ください。



〒770-8070 徳島市八万町寺山 231  
TEL.088-668-1177 FAX.088-668-1122  
( 外来のご予約に関するお問い合わせは )  
( 日・祝を除く 9時～18時 )  
ホームページ <https://www.kameihospital.com/>

## ＊＊お知らせ＊＊

- 令和元年度の高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種（定期予防接種）を実施しています。今年度該当する年齢（65,70,75,80,85,90,95,100歳）の方へは、専用の予診票が市町村から送付されています。自己負担金は4000円（生活保護世帯に属する方は免除）です。
- 対象年齢以外の方も7800円（税別）で接種できます。接種期間に制限がありますのでお早めにご予約ください。
- 徳島市がん検診や前立腺がん精密健診も受け付けています。
- あらかじめ電話にてご相談・ご予約ください。

## ＊＊表紙の写真＊＊

神奈川県の川崎大師に行ってきました。  
境内はとても広く、八角五重塔と青空の  
コントラストが見事でした。

＊＊病院の理念＊＊  
よりよい医療を提供し  
社会に貢献いたします

## \*4つの基本方針\*

- 患者さんの話に耳を傾ける医療
- 職員全員が医療人としての技量を発揮するチーム医療
- 患者さんの健康回復・社会復帰を目指す医療
- 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが  
健康回復に取り組むことを  
医療的にそして精神的に支援します

## ＊＊編集後記＊＊

秋は気候も過ごしやすく果物など食べ物も美味しいこともあります、楽しみ事がいろいろありますが、紅葉を見るのが毎年の楽しみになっています。子供の頃に見た、近所の神社のイチョウの明るく輝くような黄色の美しさに感動した記憶があります。いつの間にか訪れる秋の気配を少しずつ探しながら、日々楽しんでみようと思います。

(M.A.)